

# 学校向け ボランティア活動推進 リーフレット

～ボランティア活動を生徒の成長につなげるために～

ボランティアの活動を体験することで、  
いろいろな学びや経験を得ることができます！

- 中学生、高校生の多感な時期に、積極性や責任感を持ってボランティア活動を行うことで、例えば、普段とは異なる環境下で思考力・判断力・表現力を育むことができます。
- 今後の進路を考えるうえでの一助になったりと、ボランティア活動には大きな魅力があります。



# 生徒のボランティア活動を有意義な体験にするためのポイント

## 生徒の興味を探る

▶まず、生徒に、**興味のある分野は何か、やりたいことは何か**といったことを、ノートに書き出したり、検索したりしてもらいます。こうすることで、生徒が自分のことを理解し、好きな分野や得意な分野のボランティア活動につなげることができます。



## ボランティアセンターを利用し、活動を見つける

▶実際に募集しているボランティア活動を検索するには、**ボランティアセンターのホームページや広報誌などを調べる**のがよいでしょう。

(※ボランティアセンターが掲載しているプログラムは、センターのフォロー体制があり、より安心して参加できます。)

▶ここでいうボランティアセンターには、東京都全域を対象とする**東京ボランティア・市民活動センター**の他、**都内区市町村のボランティアセンター**があります。学校所在地、もしくは在住の地域のボランティアセンターを**検索または訪問**してみるよう、勧めるとよいでしょう。また、生徒と一緒に検索してみると、生徒に合いそうなプログラムを紹介できるでしょう。

▶その他、細かな点でも、気になったことは上記のボランティアセンターに問い合わせてみましょう。



## 参加に向けて準備をする

▶気になるボランティア活動が見つかったら、その団体の活動の詳細や、団体の理念などをボランティア募集ページなどで確認しながら、**参加するうえで心配な点がないか**など、生徒自ら考えることが重要です。これらのことにより、活動先から自分に対して求められていることは何かといったことに生徒の意識が向き、活動している自分を前もってイメージすることができます。この際、教職員が生徒の気づかない点を補足的に伝え、さらに有意義なものになるでしょう。

▶また、活動に関する疑問などが生じた際には、**東京ボランティア・市民活動センターや近くの区市町村ボランティアセンター、受入団体のボランティア担当者に相談**しましょう。



## 次のボランティア活動に繋げる

▶参加したボランティア活動が終了したら、生徒に**振り返り**を行ってもらいます。そうすることで、生徒にとって、良かった点が次の活動への**意欲**になり、また、反省点は次の活動時の**改善点**として活かすことができます。



## 多岐にわたるボランティア活動の種類

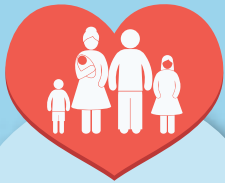
ボランティア活動には、専門的技術・経験が必要とするものから、誰でも簡単に取り組めるものまで様々な活動があり、活動の分野も、教育・福祉・まちづくり・観光・スポーツ・環境・国際協力など、様々なものがあります。

### 1. 「#ちょいボラ」

短時間で自分のペースで参加できるボランティア活動のこと。「ちょっとしたことだってもうボランティア」を合言葉にしています。  
例) ごみ拾い  
使用済み切手の寄付 など

### 2. 「夏の体験ボランティア」キャンペーン (通称「夏ボラ」)

東京ボランティア・市民活動センターや区市町村のボランティアセンターでは、7月～9月の夏休み期間を利用して、ボランティア活動が体験できる取組を行っています。さまざまなボランティア活動の中から、自分に合いそうなものを選んで参加することができます。



## ボランティア 保険とは

生徒が安心してボランティア活動に取り組めるようにするには？

ボランティアの活動中や行き帰りでけがをしてしまった場合、相手の方や物を傷つけてしまった場合に、金銭的補償の仕組みとして、ボランティア保険があります。ボランティア保険に加入するためには、**各区市町村の社会福祉協議会の窓口で手続き**を行います。

### ボランティア活動全般に 関する問い合わせ先

- ・ 東京ボランティア・市民活動センター  
TEL 03-3235-1171
- ・ 地域の相談窓口は、以下から検索していただけます。  
<https://www.tvac.or.jp/area/>



[ このリーフレットに関する問い合わせ先 ]

東京都生活文化局都民生活部地域活動推進課活動支援国際担当 TEL 03-5388-3156

